

今月号の内容

1. ベルギーの政治・社会動向	1
2. ベルギーの経済・産業動向	2
3. 月例経済指標.....	4
4. EUの動向 JETRO ビジネス短信より	5
5. お知らせ	5

1. ベルギーの政治・社会動向

1 パリオリンピックで10個のメダルを獲得

ベルギーは、パリオリンピックで、自転車、陸上、柔道、テコンドーの4種目で、合計10個のメダルを獲得した。前回の東京オリンピックで獲得した7個から獲得数を3個伸ばし、記録的なメダル数となった。また、陸上の7種競技では、ナフィ・ティアム氏が、2016年のリオ、2020年の東京オリンピックに続き、3回連続の金メダルを獲得した。（2024年8月11日）

2 8月12日の最高気温の記録更新

ブリュッセルの王立気象研究所（KMI/IRM）は、本部のあるウックルで、8月12日に34度を記録し、同日の気温としては、記録開始以来最高となった。これまでは、21年前の2003年8月12日に記録した33.5度が最高だった。同日は、朝から西部の一部を除くすべての地域で、暑さに関する気象警報が発令されており、気温は35度を超えると予想されていた。しかし、一部の地域で34度を超えたものの、35度を記録した観測所はなかった。（2024年8月12日）

3 ユーロピアン・スリーパー、期間限定でブリュッセル発ベニス行の列車の運行開始を発表

欧州の長距離列車を運行するユーロピアン・スリーパーは、2025年2～3月に期間限定でブリュッセル発ベニス行の夜行列車の運行を行うと発表した。学校の休暇やウィンタースポーツが盛んとなる同時期に週2便で運行される。ブリュッセルを出発し、アントワープ、ユトレヒト、ケルン、ミュンヘン、インスブルック、ボルツァーノ、ヴェローナ、ヴェニスに停車し、終点までの所要時間は約21時間となる。ユーロピアン・スリーパーは現在、ブリュッセルからアムステルダム、ベルリンを経由しプラハまでの列車を週3回運行し、アムステルダムとバルセロナをデイリーで結ぶ新路線も計画している。（2024年8月21日）

4 9月1日から空港での液体に関する手荷物検査強化

9月1日からEUの全ての空港で、手荷物に入れる液体やジェルに関する規制が強化された。EU全域で、旅行者は100ミリリットルまでの容器しか持ち込めなくなる。また、それら液体が入った容器を、1リットル以下の透明なビニール袋に入れなければならない。液体とジェルに関するこれらの規定は2006年に導入されたが、その後、フランクフルト空港等のように、医療用スキャンとして開発された技術を使用し、バッグの中身を3次元画像で再生するスキャナーを使って手荷物をチェックを行う空港では、この規制は緩和されていた。しかし、EUは

新しいスキャナーの信頼性に疑問があるとして、9月1日から緩和措置が廃止されることとなった。医薬品と液体離乳食は新しい規則から除外される。(2024年8月21日)

5 連邦政府、組閣作業を継続

6月9日にベルギー全土で実施された連邦議会下院や地域議会などの選挙結果を受けて、連邦議会下院で第1党を維持した新フランダース連合(N-VA、右派)のドウ・ウェイバー党首は組閣交渉人として、オランダ語圏政党「前進」(Vooruit、左派、旧別の社会党)と、キリスト教民主フランダース(CD&V、保守)、フランス語圏からはコミット(Les Engagés、中道、旧中道民主人道主義)、改革運動(MR、穏健リベラル)の5政党の代表と新連邦政府樹立に向けた正式交渉を行っていた。しかし、8月23日、交渉が決裂したとして、同氏は組閣交渉人を辞任した。同氏の辞任を受けて、コミットの党首プレブ氏が調停人として、同5政党と協議をした結果、ドウ・ウェイバー氏が9月2日に再び組閣交渉人として5党で組閣協議を開始した。(2024年8月23、26日、9月2日)

2. ベルギーの経済・産業動向

1 ユミコア、クリティカル・マテリアル・イノベーション・ハブとのパートナーシップを発表

素材大手ユミコアは、米国エネルギー省のクリティカル・マテリアル・イノベーション・ハブ(CMIハブ)とのパートナーシップを発表した。この提携により、クリーンエネルギー技術に不可欠な重要材料の持続可能で安全なサプライチェーンを推進したい意向。2013年に設立され、エイムズ国立研究所が主導するCMIハブは、鉱物加工や、製造、代替素材、効率的な利用、循環型経済の実践など、材料のライフサイクル全体にわたる革新的なソリューションに焦点を当てている。ユミコアは、重要素材のリサイクルに関する専門知識を提供し、サプライチェーンの混乱や価格変動の影響を軽減することを支援する。(2024年8月12日)

2 ノンアルコールビールの需要が拡大

報道によれば、ベルギーのビール消費量は過去20年で減少している一方、ノンアルコールビールの人気が高まっている。スーパーマーケット各社は、ノンアルコール・ビールの販売数を拡大している。スーパーマーケット大手のコロロイトは、2024年上半期のノンアルコールビールの販売量が前年同期比で約13%増、デレーズは40%増となったという。背景として、健康意識の向上や、ノンアルコールビールの種類が増え、品質も向上していることが挙げられる。一方で、アルコールと薬物に関する専門家は、子供や若者には、アルコールフリーのビールやワイン、食前酒を提供すべきではないと釘を刺している。(2024年8月18日)

3 ブリュッセルで安全な駐輪場への需要拡大

報道によれば、ブリュッセル首都圏地域で、約1万3,000人が安全な駐輪場を確保できずにいる(8月時点)。ブリュッセルには、合計5,542の駐輪場が設置されているものの、需要は高まっており、駐輪場待ちの人数は、2月の1万2,474人から増加した。ブリュッセル首都圏政府は、2022~2026年の間に2万1,250件の安全な駐輪場を新設するとしている。バイクボックスや共有駐車場が約1万台分、残りの1万1,250台は、ベルギー国鉄

(SNBC/NMBS) と地域公共交通運営会社 (STIB/MIVB) に委託される予定。(2024 年 8 月 22 日)

4 ベルギー国鉄、5,000 台の EV 車向け充電駐車場の整備を発表

報道によれば、ベルギー国鉄 (SNCB) は、2032 年までに駅の駐車場に電気自動車用の充電スペースを新たに 5,000 台設置する計画を発表した。SNCB が運営する 522 カ所の駅には、合計で約 7 万 5,000 台分の駐車設備が整っている。2020 年からオランダのアレゴが 35 カ所の駐車場で充電ステーションを運営しているが、今回の拡充に伴い、来月公示される入札では、22 キロワットまでの一般的な EV 充電ステーションが対象となる (急速充電スペースなどの充電インフラは含まれない)。フランダース地域では、2022 年に政府がフランスのエネルギー企業であるトタルエナジーとエンジーに対し、2025 年までに 1 万カ所弱の公共充電ポイントの設置・運営を委託。5 月末時点で、フランダースには 4 万 6,000 の公共充電ポイントがあり、2030 年までに、少なくとも 10 万カ所が新たに設置される見込み。(2024 年 8 月 26 日)

5 フランダース地域、デジタル金庫の使用開始を決定

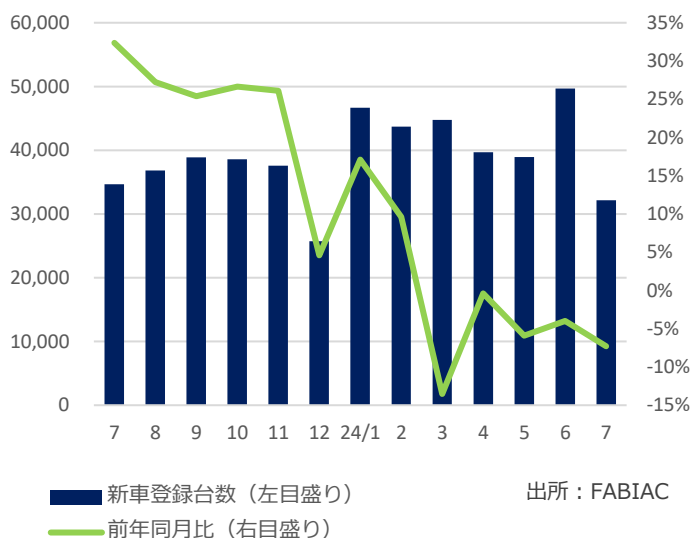
フランダース東部に位置するアールテル市は、行政機関の営業時間外に、パスポートや運転免許証などの行政文書を受け取ることができるスマートロッカーやスマート金庫の実証試験を終了し、本格的な運用に移行した。同取り組みは、フランダースの他の地域にも拡大される予定で、希望する自治体に技術的ノウハウを提供する。既に多くの自治体関係者が視察を実施しているという。同システムは、特定の行政文書を受け取るための予約を取る必要がなくなり、自治体が管理するデジタル金庫やロッカーで、スマートフォンのデジタル身分証明アプリ「Itsme」を通じて身元確認が行われ、開館時間外に書類を受け取ることができる。(2024 年 8 月 27 日)

3. 月例経済指標

7月の新車登録台数 前年同月比 7.3%減

ベルギー自動車工業会（FEBIAC）によれば、7月の乗用車の新車登録台数は、3万2,151台（前年同月比7.3%減）と縮小した。メーカー別では、BMWのシェアが12.08%と最大で、フォルクスワーゲン（10.76%）、アウディ（8.24%）が続いた。（2024年8月2日）

新車登録台数の推移



8月のインフレ率 前年同月比 2.86%上昇

連邦経済省の発表によると、8月の消費者物価指数は前年同月比で2.86%上昇した。6月以降下落傾向にあるが、特に食品のインフレ率の低下が顕著だという。たばこ、賃貸料、ノン・アルコール飲料、ホテル宿泊料、衣料品、レストラン・カフェが押し上げ要因となった。一方、車両用燃料、家庭用電化製品、花・植物、野菜、天然ガスが押し下げ要因となった。報道によれば、牛や羊の感染症であるブルータンクの感染拡大を受けて、バターの世界市場価格が記録的な高値に達しており、消費者に波及する見込み。（2024年8月29、30日）

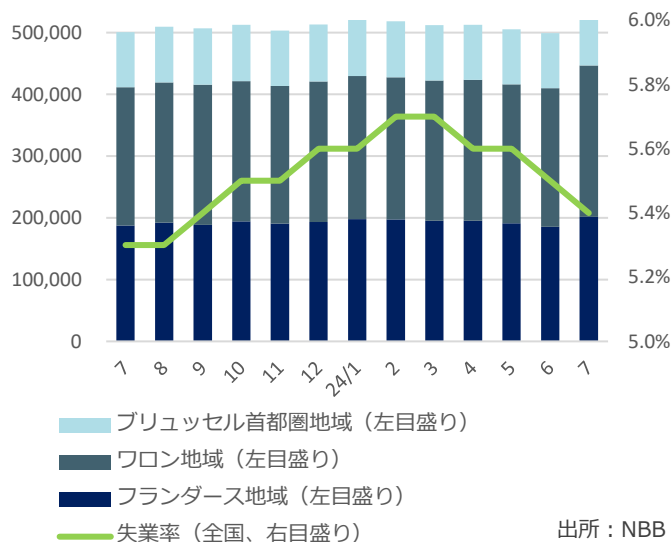
消費者物価上昇率（前年同月比）



7月の失業率 5.4%、前年同月比で横ばい

ベルギー国立銀行（NBB）によれば、国内の7月の失業率（季節調整値）は、5.4%（前年同月比で横ばい）だった。各地域政府が発表した失業率をみると、ブリュッセル首都圏地域の7月の失業率は、前年同月比（以下同じ）0.7ポイント増で14.9%、フランダース地域は、0.2ポイント増で6.6%となった。ワロン地域は未発表。地域別の失業者数では、フランダース地域が20万1,784人、ワロン地域が24万4,842人、ブリュッセル首都圏地域が9万3,416人だった。（2024年8月5、12、30日）

失業率と地域別失業者数の推移



※ベースとなる労働力人口の算出方法は地域により異なる。

4. EU の動向 | JETRO ビジネス短信より

- (1) EU 向けでない食品ラベルの英国全体への適用を見直し (2024 年 8 月 13 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/54891db354bd9f1e>
- (2) 欧州委、中国製 BEV への相殺関税措置の最終案を関係者に開示 (2024 年 8 月 22 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/633fe2adfde2222c>
- (3) 中国が EU 産乳製品に対する反補助金調査を開始 (2024 年 8 月 29 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/c2bbc4a2ed460eb2>
- (4) 世界の政治・経済日程 (2024 年 9~11 月) (欧州) (2024 年 8 月 30 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/08/2049ad6caf29c953.html>

5. お知らせ

★メールマガジン「ジェットロ EU トピックス」のご案内

ジェットロ・ブリュッセル事務所では、EU の最新情報や欧州域内のジェットロ各事務所が実施するセミナー情報などをお届けするメールマガジン「ジェットロ EU トピックス」を配信しています。配信日は毎月第 1 木曜日を目安としています。配信を希望される方は、以下のようにお申し込みください。

- (1) 欧州域内にお住まいの方：以下の必要事項をご記入の上、ジェットロ・ブリュッセル事務所 (belinfo@jetro.go.jp) までお申し込み下さい。
 - ①お名前とご所属先 (英文・和文)、②お住まいの国名、③送付先メールアドレス
- (2) 欧州地域以外に在住の方：以下の URL からお申し込みください。
https://www.jetro.go.jp/jetro/overseas/be_brussels/mail.html

※内容についてなど、ご質問などございましたら、ジェットロ・ブリュッセル事務所 (belinfo@jetro.go.jp) までお問い合わせください。

調査レポートのご案内

- 地域・分析レポート「動き始める次期 EU 政治体制、新たな極右政党の動きも注視」 (2024 年 9 月)
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0701/dfbe3b47d7e3f201.html>
- 地域・分析レポート「極右「国民連合」が欧州議会と下院の両選挙で躍進 (フランス)」 (2024 年 8 月)
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0701/f896456ae55f159f.html>
- 地域・分析レポート「欧州議会選挙から占う今後の EU 政策」 (2024 年 7 月)
 1. 選挙結果の概要
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0701/570b14c606f7c007.html>
 2. EU 政策への影響
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0701/e016d5c271f0f091.html>

※以下の特集もご参照ください。

「欧州最新政治情勢：欧州の行方を見定める注目論点」

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0701.html>

「2024 年欧州政治動向」

<https://www.jetro.go.jp/biznews/feature/europolitics2024.html>

- 調査レポート「EU における新しい公的管理・植物衛生・動物衛生制度に関する調査」（2024 年 8 月更新）
<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2021/02/1f230e3f203106e4.html>
- 主要国の自動車生産・販売動向（2024 年 7 月）
<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2024/01/b8108a3ebf32792b.html>
- ジェトロ世界貿易投資報告 2024 年版（2024 年 7 月）
<https://www.jetro.go.jp/world/gtir/2024.html>
- 地域・分析レポート「在中国 EU 企業、利益は前年並み維持、ビジネス環境の厳しさ増す」（2024 年 7 月）
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/0b11ed4fcdaa9e61.html>
- 地域・分析レポート「EU のエネルギー憲章条約脱退が意味するもの」（2024 年 6 月）
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/7cc4edb7f2600c12.html>

ジェトロでは、上記以外にも様々な欧州関連の調査レポート、地域・分析レポートを公開しています。以下 URL よりご参照ください。

<https://www.jetro.go.jp/reportstop/europe/reports/>

<https://www.jetro.go.jp/areareportstop/europe/areareports/>

ベルギー日本人会商工委員会ビジネスセミナー案内送付のお知らせ

ベルギー日本人会商工委員会と JETRO ブリュッセル事務所は、EU の政策動向、欧州各国の政治・経済情勢、労務・法務・会計等の制度情報など皆様のビジネスに関連するテーマを題材にしたビジネスセミナーを年に 4 回程度開催しています。日本人会会員企業の方は無料で本セミナーにご参加いただけます。案内状の送付を希望される方は、belinfo@jetro.go.jp までメールアドレスをご連絡ください。

ベルギー拠点設立に関する専門家相談サービスのご案内（法務・労務・税務）

JETRO ブリュッセル事務所では、ベルギーに拠点設立を検討されている企業様、または進出後まもない企業様を対象に、弁護士・税理士等によるコンサルティングサービスを提供しています。2 時間まで無料でご利用いただけます。ぜひご活用ください。

※原則として中堅・中小企業を対象としていますが、大企業も対象とできる場合があります。詳細はお問合せください。

サービス詳細・お申込み

<https://forms.office.com/r/MDqXipfgZf>

mailto:お問合わせ先 | ジェトロ・ブリュッセル事務所 (belinfo@jetro.go.jp)